



花みずき

本庄総合病院だより

発行日：平成29年12月1日
発行者：石原通臣
編集者：広報委員会 後藤利和
第39号
住所：本庄市北堀1780 TEL 0495-22-6111(代)

ホームページがリニューアル致しました
<http://www.honjo-hp.jp>

新任のご挨拶

外科 塚田勝彦



平成29年6月21日より本庄総合病院の外科に勤務しております塚田勝彦です。専門は消化器外科で、群馬大学医学部を昭和58年に卒業し第一外科（現在の病態総合外科）及び関連病院に20年ほど勤務しました。医局に在籍当時は食道グループに属していました。その後は長野県佐久市の川西赤十字病院に約8年間、上尾市の藤村病院とさいたま市の西部総合病院に3年半勤務しました。この間に東北大震災の際に震災後第11日目に日赤救護班として石巻赤十字病院に派遣され、貴重な体験を積むことができました。

長野県の山間の病院から埼玉県の本庄総合病院に来て3年半になりますが、依然地域における医療の違いに悩みながら日々を過ごしております。

当院におきましては、内視鏡、手術などの消化器疾患の診断と治療を通じ、少しでも本庄児玉郡地域の医療に貢献できればと考えております。

まだ不慣れなことが多く、ご指導のほどよろしくお願いたします。

(医師)



内科 横山千鶴子

平成28年12月1日より赴任しました内科の横山千鶴子と申します。日本医科大学を卒業し、日本医科大学循環器内科に入局しました。大学病院や関連病院などで11年間勤務後、出産・育児のため8ヶ月ほど休職しておりました。この度、大学の同じ循環器内科の先輩である当院内科の福島正人先生に誘って頂き、勤務させて頂くこととなりました。

大学病院では主に、心筋梗塞や狭心症の患者さんの心臓カテーテル検査や治療、心不全の患者さんの治療に携わっておりました。その一方で、大学の関連病院である山形の総合病院に勤務していたこともあり、地域医療に携わり、循環器内科以外の分野の総合内科の診療にもあたっておりました。

以前より地域医療に大変興味があり、本庄総合病院では患者さんやそのご家族との距離の近い総合内科医として、最善の医療を行うことができたらと思っております。今後とも何卒、よろしくお願いたします。

(医師)



整形外科 宗宮雄己

平成29年10月から整形外科に赴任しました宗宮雄己（そうみやゆうき）と申します。

当院では外来を水・金・第3土曜日に担当しており、その他は病棟回診や手術を行っております。

出身は岐阜県で、中高は愛知県の学校に通っていました。大学からは東京都の日本大学医学部で医学を学び、日本大学医学部附属板橋病院で研修医として研修をしました。

研修中にローテーションした整形外科で、慢性疼痛や骨折などによる急性の痛みに対して治療を施し、元気に歩いて帰っていく患者様達にふれあい、整形外科という分野に魅力を感じました。その経験もあって、研修を終えた後はいろいろ学ばせていただいた日本大学医学部の整形外科医局に入局となりました。

本庄総合病院に赴任して優秀なスタッフに囲まれて医療に専念させていただいております。信頼できるスタッフとともに患者様はもちろん、そのご家族の方々までの幸せを叶えられるような医療を実現できるよう考えております。ご指導のほどよろしくお願いたします。

(医師)

～生活の見直しも腰痛予防の第一歩～

リハビリテーション科 下西優子

当院にも腰痛を訴えて通院・入院されている方は非常に多くいらっしゃいます。腰痛の原因は様々ですが、日常生活の工夫次第では腰痛を起こしにくくすることが出来ます。

日常生活を過ごす中では以下のことに注意していきましょう。

- ◎下にあるものを拾うときは股関節や膝関節を軽く曲げて拾う。
- ◎荷物を持つときは身体に密着させて持つ。
- ◎長時間同じ姿勢をとらない。
- ◎無理のない範囲での適度な運動を行う。（ウォーキングなど）
- ◎腰や足を冷やさない。〔入浴を心がける（39～42℃の温度が適温）〕
- ◎寝具や椅子は柔らかいものは避ける。

また、年齢を重ねてくると自然と筋肉が痩せてきてしまうことがあります。筋肉量が減ることで、背骨を支える力が弱くなり、腰痛を引き起こす原因となってしまいます。筋肉量を落とさないようにするためには、運動と毎日の食事の中でたんぱく質を取ることが大切とされています。例えば、鶏のささみや豚のヒレ肉、マグロやカツオ、納豆や豆腐、卵、牛乳やヨーグルトなどを意識して食べて頂くと良いでしょう。

腰痛を生じさせない、痛みを緩和させるためにもご自身の生活を見直して頂くことも大切です。

(理学療法士)

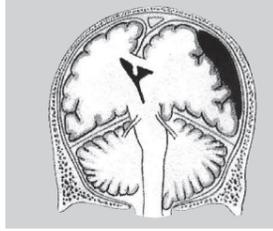


慢性硬膜下血腫—摩訶不思議な病気—

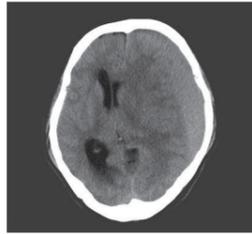
脳神経外科 後藤利和

慢性硬膜下血腫とは頭部打撲後しばらくして頭蓋骨直下の硬膜と脳表のくも膜との間にジワジワと血が溜まってくる病気を言います。その病気の特徴は1) ほとんどが50才以降の高齢者。2) 頭部打撲後1~3ヶ月を経てから症状が出てくる。3) 手術的予後は良好であるなどが挙げられます。その病態については十分に解明されているとは言い難く、摩訶不思議な病気です。例えば若い方でも頭部打撲はあるはずなのに、なぜ高齢者のみなのか。高齢者の脳萎縮と関係があるのか。認知症や下肢筋力低下、さらには脳卒中後遺症などで、より転倒しやすく頭部打撲の機会が多くなる事も関係しているのか。サラサラ系の薬を内服している事と関係があるのか。等が思い浮かびますが、それだけではなさそうです。さらに血腫なのに何故慢性硬膜下血腫の内容液は固まらないのか。等々いろいろと不思議な点の多い病気です。従って予防法は現在のところありません。先ずはこの病気を見逃さない事が第一となります。受傷当初のCTスキャンでは出血などの外傷性変化の見られない場合がほとんどですが、その時点でこの患者さんは慢性硬膜下血腫になる、ならないは分かりません。当院ではご高齢の方の頭部打撲に際しては、この疾患の説明を行い、パンフレットを患者さんやご家族にお渡ししております。次に症状ですが、脳卒中のようにある日突然に

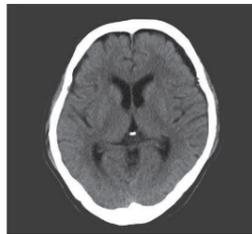
図1



慢性硬膜下血腫シエーマ

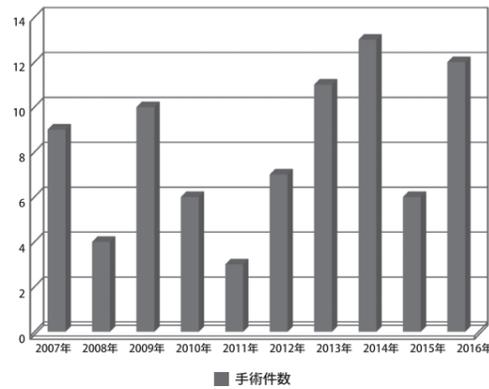


術前CT



術後CT

図2 慢性硬膜下血腫手術件数



キャンで慢性硬膜下血腫が見つかった場合、神経症状に異常なく、血腫の厚さも薄く、正中構造の偏位も少ない場合は定期的なCTでの経過観察となります。そのまま血腫が消滅する場合もあるからです。一方神経症状を伴っている場合はCT上の血腫状況を考慮し、局所麻酔下（状況により静脈麻酔併用）での手術となります。手術は穿頭血腫洗浄術と言います。穿頭とは頭蓋骨に1cmほどの穴を開ける事を言います。そこから血腫内容を生理食塩水で洗浄し約30分程で終わります。簡単な手術といえばその通りですが、ご高齢の方では種々の基礎疾患や先程のサラサラ系の薬を内服されている方では十分な注意が必要となります。慢性硬膜下血腫の手術的予後はほとんどの症例で良好と言えます。図1は慢性硬膜下血腫のシエーマと術前・術後のCT所見です。図2は当院での過去10年間の年別手術件数です。年によりばらつきはありますが、平均で年間8例強となります。手術を行った年齢は41才から94才で平均年齢は76.1才でした。最後になりますが、この病気は見逃さなければ予後の良い病気です。ご高齢の方の頭部打撲に際しては、その時はCT上に異常がなくとも後々に慢性硬膜下血腫が発生する場合がありますので、ご家族の方々も留意して普段の様子を観察して頂きたいと思います。

(副院長)

便潜血反応について

内科 大林隆晴

皆さんも大腸がん検診で便の潜血反応をお調べになった方はいらっしゃると思います。

結果の記載は陽性、陰性となっているはずですが。結果が陽性であれば、医療機関受診という流れのほずです。さらに医療機関を受診すれば通常『大腸内視鏡検査』を受けましょう。と進んでいきます。

では便潜血反応陽性であれば全例異常なのでしょうか?今回は便潜血反応の考え方、結果を含め少しご説明させていただきます。

1. 便潜血反応の意義:

本邦では年々大腸癌が増加しています。1972年より最も簡易な検査として開始されたのが便潜血反応検査です。

平成22年の消化器がん検診全国集計では便潜血反応で陽性者に大腸内視鏡検査を施行したところ大腸癌が見つかる確率は3.6%と報告されています(平成22年度消化器がん検診全国集計II、大腸がん検診全国集計、2012)。つまり100人中約4人で大腸癌が見つかるという事です。

これを多いと感じるか少ないと感じるかは別として、全く症状もない方で便を調べるのみで『癌』が見つかるという事です。

2. 便潜血反応検査の問題点:

現在の便潜血反応検査はヒトの血液にしか反応しません。しかし以下の方たちでは癌ではないにも関わらず陽性となることが知られています。

- ①痔を持っている方 (ちなみに日本人の4人に1人は痔を持っています)
- ②大腸に憩室を持っている方
- ③炎症性腸疾患の方

- ④胃から小腸で出血している方
- ②から④の方々は便潜血反応でなくても治療や経過観察が必要な、きちんとした病気なので検査が無駄になることはないと思います。

逆に便潜血反応陽性で大腸カメラを施行しても何も見つからなかった確率も39%という結果が得られています。

要するに、便潜血反応陽性で大腸内視鏡検査を100人の人で行くと4人で癌が、39人は何もなし、残りの57人で癌ではなくても病気が見つかるという事です。何らかの病気が見つかるという事を検査の意義あり、と規定すれば61人で有意義である訳です。

実は便潜血反応検査の問題点はもっと別の所にあります。

それは現状、『便潜血反応陽性という結果が出たにも関わらずきちんと大腸の検査を受けない方が半数である』という点です。同様に今一度便潜血反応検査を後日に受けなおして陰性であればそれで様子を見てしまうという方も少なくありません。実際には便潜血反応陽性で大腸内視鏡検査を受けている患者さんは53%とされています。

つまり、現状では便潜血反応陽性患者さん100人中53人が内視鏡検査を受けていて、約2人で大腸癌が見つかるという事になります。もしも全員の方が検査を受ければ、大腸癌が見つかる確率は倍になるでしょう。

便潜血反応陽性であった場合、是非大腸内視鏡検査を受けて頂きたいと思います。

(医師)

各科外来スケジュール表

(平成29年12月1日現在)

		月	火	水	木	金	土
外科・肛門科	午前	塚田 村上	小澤	新井 山崎	角田 小澤 吉澤	小関 五十嵐	新井 村上
	午後	手術 (村上)	手術 (阿部)	手術 (塚田)	手術 (吉澤)	手術 (小関)	
呼吸器	午後			山崎			
乳腺・甲状腺	午前	村上	阿部			小関	村上
内科	午前	新井 横山	新井 福島	小谷 菅原 柳田	新井 横山 三宅	岩崎 福島 柳田	大林 今井 柳田
	午後	大林	阪口 大林	小谷 今井 (予約)	三宅 今井 (予約)	石橋 横山	
整形外科	午前	鈴木 長谷川	布袋屋 鈴木 小松	宗宮 星野 小田	鈴木 大森 中島	布袋屋 長谷川 宗宮	第1 稲垣 第2 小田 第3 宗宮・橋代 第4 長谷川・高安 第5 長谷川
	午後	15:00~16:00 長谷川 (手術)	休診 (手術)	休診 (手術)	休診 (手術)	15:30~予約 布袋屋 (手術)	
脊椎外科	午前			星野	大森		
脳神経外科	午前	後藤	北村	後藤	後藤	後藤	北村
	午後	北村	森	北村	茂呂	北村	
泌尿器科 (午後の受付は14:00~16:30)	午前	富田	大林	神家 満 第3水曜日のみ	赤塚		交替制
	午後	富田	大林		赤塚		
皮膚科	午前	樋口	樋口	樋口	第1.35 鈴木 第2.4 江田	樋口	樋口
	午後	樋口	樋口	樋口		樋口	
眼科 (受付は11時30分にて終了)	午前	河井		佐谷	星	佐谷 第2金曜日は休診	阿部
	午後		山田				
耳鼻咽喉科 (受付は11時にて終了)	午前	高橋	鎌田		近松		隔週交代 第2.4 高安 第1.3.5 高橋
	午後						
小児科	午前	野口	野口	野口	野口	木村	野口
	午後	野口	野口	野口	野口		
理学診療	午後	石原		月1 加部		月1 間嶋	
内視鏡	午前	関田	山口		上原	大林	
精神通院医療	午後				尾身		
画像診断	午後					石橋	

※診療時間 月~金:午前9時~12時、午後2時~5時 土:午前9時~12時
 ※複数科受診希望の方は午前の受付は11時までとさせていただきます。
 ※午後診察の場合は、手術等により休診及び時間変更がありますのでご確認ください。
 【眼科】
 ・眼鏡処方箋は毎週月曜日または第2・4土曜日に来院下さい。コンタクトレンズの処方箋は実施しておりません。
 【小児科】
 ・乳児検診:月~木/午前10時~11時、午後2時~3時30分
 ・予防接種(予約制):月~金/午前9時~11時、月~木/午後2時~4時

関連病院	本庄福島病院 内科・小児科・療養型 本庄市千代田1-1-18 ☎0495-22-5211	介護老人保健施設 彩の苑 本庄市千代田1-1-21 ☎0495-23-3988	伊勢崎福島病院 内科・神経内科・消化器外科・循環器内科・外科・整形外科 科・歯科・リウマチ科・リハビリテーション科・泌尿器科 伊勢崎市鹿島町556-2 ☎0270-24-3456	熊谷福島病院 内科・療養型 熊谷市宮前町1-135-2 ☎048-525-2522	上武病院 精神科・内科・歯科 本庄ナーシングホーム 本庄市小島5-6-1 ☎0495-21-0111
------	--	--	--	---	---